

第35回 剣道百面立切誓願試合



日時	令和6年2月11日(日・祝) 午前10時開始
場所	調布市民西調布体育館
主催	調布市剣道連盟
共催	群 雄 会
後援	西東京剣道連盟

剣士心得

基立剣士

必死三昧

(死ぬ覚悟で全力を尽くし、心を一つに集中して動揺しない)

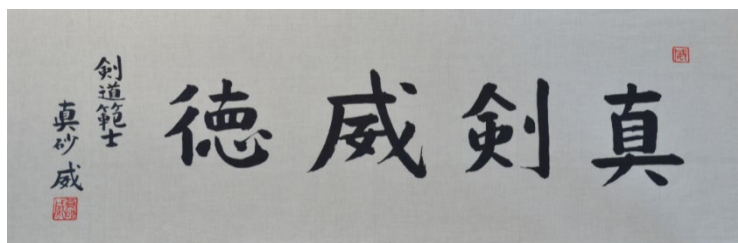
挑戦剣士

基立撃砕

(悟道の手助けの為、猛烈果敢に全力で攻め尽くす)

観戦者心得

1. 場内のフラッシュ撮影はご遠慮下さい
2. 体育館(含む敷地内全体)は「禁煙」となっております
3. 携帯電話は電源を切るかマナーモードに願います
4. お帰りの際忘れ物にご注意ください



題字について

「真剣なまなざし」とか「真剣に取り組む」や「真剣な表情」と言うように、剣道用語の中で「真剣」という語ほど古今東西を問わず人々の口に上らせてきた言葉はありません。

ご存じのように真剣は、木刀や竹刀などに対して自身の刀剣を指します。

そしてそこから派生して、真剣勝負のように「死ぬ覚悟をもって」という意味合いから、更に「本気」「一所懸命」「まじめ」な姿勢や態度を言い表す言葉に転じ、広く一般に使われるようになりました。

古来日本人は、刀剣を単なる武器としてではなく、神聖で清浄なものとしてとらえてきました。

皇位の象徴である三種の神器に、「鏡」や「玉」とともに「剣」が位することは刀剣の神聖性を如実に示すものと言えましょう。

また武士が腰に帯びる刀は、侍の魂として崇めてきた長い伝統と歴史があります。

真剣、以て威厳に満ちた有徳の士であれかし、と「真剣威徳」を掲げた次第です。

拙筆万謝

平成二十八年十二月吉日

剣道範士 真砂 威

本来を申し上げますと、この「真剣」と同じ読みで神の剣と書いて

「神剣」、神から授かった剣つみぎなのです。

取りも直さず「神剣」は、皇位の標識である三種の神器の一つ

あまのむらぐものつみぎ
「天叢雲剣」を指すものです。

古代伝説によりますと、第十二代景行天皇の皇子である

やまとたけのみこと
日本武尊は、勅命を受け西の熊襲を征伐しました。

引き続き勅命を受け東の国へ赴きますが、その途上、

伊勢神宮に立ち寄り叔母の倭姫やまとより「天叢雲剣」を授かります。

そして日本武尊は東進しますが、駿河の国で賊に欺かれ焼き討ちに遭います。そのとき倭姫から授かった「天叢雲剣」を抜き払って戦います。そして神剣の威徳をもって難をのがれ賊を成敗したのです。

日本武尊は天下に「神剣威徳」を轟とどろかせることとなりました。この

「天叢雲剣」は後に「草薙くさなぎ剣」と名が改められます。

私どもといたしましては、日々の稽古に使う手拭に

「神剣」としたためるのは畏れ多いことですので、このたび「真剣」を用いさせていただきます次第です

建国記念日に開催される本試合に相応しく日本神話につながる

ものと受けとめていただければ幸いです。

平成二十九年二月十一日

真砂 威

【大会役員】

大会会長	宮田 考志
実行委員長	鱒澤 仁
実行委員	松田 正年・小林 八十男・小笠 俊樹・小野 洋助・鈴木 敦之・箕輪 聖子
審判長	石田 利也
審判員	山口 明生・甲斐 睦章・高添 政史
敢闘賞選考委員	山口 明生・鱒澤 仁・小笠 俊樹
立会医師	坂東 道哉

【協賛団体】

稲城市剣道連盟・関東医師剣道連盟・国分寺剣友会・多摩市剣道連盟・多摩地区実業団剣道連盟
銚子剣道連盟・日野市剣道連盟・府中市剣道連盟・三鷹市剣道連盟・山梨県剣道連盟

【来賓】 (順不同)

真砂 威(全日本剣道連盟副会長)・三浦和人(西東京剣道連盟副会長)
青木千代子(元全日本剣道連盟参与)・小田切光男(元立会医師)
佐野順次郎(元立会医師)・齊藤亀三(齊藤倉庫株式会社会長)
倉島秀夫(稲城市剣道連盟理事長)・楠木勇滋(国分寺剣友会理事長)・畑中重夫(多摩市剣道連盟理事長)
尾作弘幸(多摩地区実業団剣道連盟会長)・半谷好弘(銚子剣道連盟会長)・小笠一樹(日野市剣道連盟会長)
高橋文司(府中市剣道連盟会長)・高橋正登(三鷹市剣道連盟会長)・菅谷 孝信(山梨県剣道連盟副理事長)

【大会係員】

会場責任者	小林 八十男 副責任者 箕輪 聖子
司会	箕輪 聖子
呼出	長内 和久・野崎 茂
時計	松本 義弘・秋元 和久
掲示	掛水 宜房・鈴木 敦之
記録	小野 洋助・海藤 建太・西原 時照
駐車	小野 洋助・松本 義弘・海藤 建太
警備	沢井 學
受付	松田 正年・小野 洋助・鈴木 敦之・沢井 學・野崎 茂・土屋 志乃・石上 紀子
応対	宮田 考志・鱒澤 仁・小笠 俊樹
接待	小林 京子・ルース 希・佐藤 奈保子・木村 貞雅・横瀬 由子・三浦 悠紀子
広報運営委員会	高山 聡・荒井 達也・堤 文彦・土屋 志乃

調布市剣道連盟ホームページ(<http://www.chofukenren.net/>)

剣道百面立切誓願試合要領

立切実行委員会

目的

第1条： 自己の体力、気力の限りを尽くし、剣道の真髄が奈辺にあるかを深く探究する為、本試合を行う。

基立剣士の資格

- 第2条： (1) 基立剣士は、立切実行委員会から依頼を受けた団体が銚衡する。
原則として剣道五段以上の段位を有し、剣道百面立切誓願試合（以下「試合」と云う）の挑戦剣士を経験した者とする。
(2) 基立剣士の誓願者は、承諾書を立切実行委員会へ提出し、原則1ヶ年の研鑽努力を重ね本試合に満願成就を期すものとする。

基立剣士の義務

- 第3条： 基立剣士は、健康状態を以下の方法で管理する。
(1) 健康管理は自己責任で行うこととする。
(2) 万全を期すために、別紙「基立剣士の認識事項」に基づき、立切実行委員会が委嘱する立会医師の診断を受けることとする。

挑戦剣士の資格

第4条： 挑戦剣士は、立切実行委員会が各団体に銚衡依頼をする。原則として剣道五段以上の段位を有する者とする。

挑戦剣士の義務

第5条： 挑戦剣士に銚衡された者は、基立剣士の悟道を手助けするものと心得、猛烈果敢に全力を尽くして試合を行う。

主催者の義務

- 第6条： (1) 主催者は、試合に立会医師を同席させる。
(2) 主催者は、試合用の傷害保険に加入する。

試合規則

- 第7条： (1) 試合は、全日本剣道連盟の剣道試合・審判規則、剣道試合・審判細則に準じ、剣道百面立切誓願試合要領及び審判要領にて行う。
(2) 試合は、1本勝負とする。
(3) 試合時間は、3分間とし中断時間を含めないものとする。
(4) 勝敗の決しない場合は、引き分けとする。
(5) 反則事項は特に定めない。
(6) 「竹刀落とし」及び「転倒」をした場合は、相手に1本を与える。
* 転倒は「体当たり」と「足払い」に限る。「足掛け」や「首がらみ」等は禁止する。

怪我の対処及び試合継続の条件

- 第8条： (1) 試合中に怪我・病気・事故等が発生した場合は、立会医師が対処する。
処置時間は5分程度とする。
(2) 剣士の怪我等による「棄権」の判断は立会医師が行い、審判長及び実行委員長に報告する。
(3) 基立剣士が怪我のため試合の継続が不可能な場合は、その時点で終了とする。
(4) 挑戦剣士が怪我のため試合の継続が不可能な場合は、代理出場を以って続行する。

審判方法

- 第9条： (1) 審判は、第7条に準じて行う。
(2) 審判は、1審制で行う。また審判旗は使用しない。
(3) 審判員は、基立剣士が見苦しい試合をした場合に審判長と相談の上、中止することが出来る。

表 彰

第10条：各剣士の表彰は次のとおりとする。

- (1) 基立剣士が、満願成就した場合に「満願之証」及び「副賞」を授与する。
- (2) 挑戦剣士の中から、猛烈果敢・戦績優秀さらに感動ある試合を行った者に「敢闘賞」を授与する。

待 遇

第11条：基立剣士の待遇

- (1) 満願成就者は、プログラムの「成就者一覧表」に掲載しその榮譽を後世に称える。
- (2) 次回以降本試合に招待し、支援者となる。

実 施：平成10年2月より実施する

改 訂：平成14年1月（名称訂正、第10条（2）追加）

改 訂：平成15年9月（主催者変更による改正）

改 訂：平成18年11月（第10条の審判長から選考委員に変更）

改 訂：平成19年2月 全面見直し

改 訂：平成23年9月 一部改定（転倒の定義の設定）

改 訂：平成28年8月 全面見直し

改 訂：平成29年9月 一部改定（試合規則、怪我の対処及び試合継続の条件）

審 判 員

教士八段	山口	明生
教士八段	甲斐	睦章
教士七段	高添	政史

審 判 順 番 表

1 回戦	山口	明生
2 回戦	甲斐	睦章
3 回戦	高添	政史
4 回戦	山口	明生
5 回戦	甲斐	睦章
6 回戦	高添	政史
7 回戦	山口	明生
8 回戦	甲斐	睦章
9 回戦	高添	政史
10 回戦	山口	明生

審 判 要 領

1 (審判方法)

審判は、剣道百面立切誓願試合規則の第9条「審判方法」に準じて行う。

2 (審判員の宣告と所作)

	項 目	宣 告	所 作
1) 開始・再開・中止			
	試合を開始するとき	「始め」	両手は体側
	試合を再開するとき	「始め」	両手は体側
	試合を中止するとき	「止め」	右手を真上に上げる
	試合を終了するとき	「止め」	右手を真上に上げる
2) 有効打突			
	有効打突を認めたとき	「…あり」	手を体側斜め上方に上げる
	竹刀落とし・転倒のとき	「1本あり」	手を体側斜め上方に上げる
3) 勝敗の決定			
	1本勝ちしたとき	「それまで」	右手掌を下に前へ出す
	勝敗が決しないとき	「それまで」	右手掌を下に前へ出す
4) 鏢競り合い			
	膠着したとき	「分かれ」	両手掌を内側にして前方に出す
	継続させるとき	「始め」	両手下ろす

第 35 回 剣道百面立切誓願試合

開催日： 令和 6 年 2 月 1 1 日 (日・祝)
 総勝数： 勝 敗 分

開始時間	終了時間	試合総時間	時間 分 秒
天 候	気 温	記録責任者	小野 洋助

基立剣士	錬士	七段	^{よしなが} 吉永 ^{てつお} 哲男	40歳	日野市剣道連盟
敢 闘 賞					

順 番	先鋒	次鋒	八将	七将	六将	五将	四将	三将	副将	大将	平均年齢
称号・段位	錬六	六	錬七	錬七	教七	錬六	教七	教七	教七	教七	
年 齢	33	49	42	45	49	33	40	48	46	48	43.3
挑 戦 剣 士	福島 拓利	友安 秀徳	伊藤 創	星野 友則	秋山 正之	石原 史隆	上原 真守	田代 啓之	神崎 力	久保山 聡	/
所 属	府 中	稻 城	調 布	多 摩	銚 子	三 鷹	山 梨	多摩実	国分寺	日 野	勝 敗 数
1回戦											基立 挑戦
2回戦											基立 挑戦
3回戦											基立 挑戦
4回戦											基立 挑戦
5回戦											基立 挑戦
6回戦											基立 挑戦
7回戦											基立 挑戦
8回戦											基立 挑戦
9回戦											基立 挑戦
10回戦											基立 挑戦
基立戦績数											勝数
											敗数
											分数

栄光の剣道立切誓願試合成就者一覧表

回	立切誓願日	基立者	戦績	称号段位	年齢	所属	敢闘賞
3時間 立切誓願試合							
1	S. 59. 2. 11	おきない じゆんけ 長内 淳介	16勝14敗6分	教士七段	44歳	立身流	設定なし
2	S. 60. 2. 11	ますざわ ひとし 鱒澤 仁	9勝24敗3分	錬士六段	37歳	立身流	設定なし
3	S. 62. 2. 11	こばやし やそお 小林八十男	14勝17敗5分	錬士六段	38歳	調布市剣道連盟	(三鷹市) 松崎 薫
4	H. 1. 2. 11	たんどう たけお 丹藤 武雄	12勝19敗5分	教士七段	45歳	多摩市剣道連盟	(洗心館) 鱒澤 仁
5	H. 4. 2. 11	ながしま ひろき 長嶋 宏樹	6勝16敗14分	五 段	29歳	立身流	(多摩市) 三鍋 茂
6	H. 5. 2. 11	まつだ まさとし 松田 正年	11勝22敗3分	五 段	39歳	立身流	(調布市) 藤田 文富
7	H. 6. 2. 11	いそ まさあき 磯 将章	12勝15敗9分	五 段	31歳	多摩市剣道連盟	(調布市) 藤田 文富
8	H. 7. 2. 11	おがき としき 小笠 俊樹	23勝7敗6分	五 段	32歳	多摩市剣道連盟	(多摩市) 小笠 俊樹
9	H. 8. 2. 12	ふじた よういち 藤田 洋一	14勝12敗10分	五 段	32歳	調布市剣道連盟	(多摩市) 小笠 俊樹
10	H. 9. 2. 11	なかむら ひでお 中村 英生	11勝16敗9分	六 段	34歳	多摩市剣道連盟	(洗心館) 鈴木 敦之
百面 立切誓願試合							
11	H. 10. 2. 11	はたなか しげお 畑中 重夫	34勝38敗28分	五 段	32歳	多摩市剣道連盟	(稲城市) 飯干 祐一
12	H. 11. 2. 21	おさだ かつみ 長田 克巳	37勝48敗15分	五 段	38歳	調布市剣道連盟	(洗心館) 小野 洋助
13	H. 12. 2. 20	いほし ゆういち 飯干 祐一	36勝39敗25分	五 段	37歳	稲城市剣道連盟	(山梨県) 山口 明生
14	H. 13. 2. 11	かい むつあき 甲斐 睦章	40勝42敗18分	錬士六段	38歳	稲城市剣道連盟	(調布市) 鈴木 敦之
15	H. 14. 2. 11	やまぐち あきお 山口 明生	38勝36敗26分	教士七段	41歳	山梨県剣道連盟	(多摩市) 磯 将章
16	H. 15. 2. 16	ほし ふみひこ 星 文彦	33勝43敗24分	五 段	38歳	府中市剣道連盟	(山梨県) 依田 信幸
17	H. 16. 2. 15	くぼやま きとし 久保山 聡	46勝26敗28分	五 段	32歳	日野市剣道連盟	(府中市) 星 文彦
18	H. 17. 2. 20	みやた たかし 宮田 考志	25勝67敗8分	錬士六段	49歳	調布市剣道連盟	(山梨県) 谷田部芳昭
19	H. 18. 2. 19	よしおか のぶゆき 吉岡 信幸	29勝67敗4分	五 段	32歳	諏訪尚武館	(山梨県) 岡 寿憲
20	H. 19. 1. 28	えがしら まさとも 江頭 正智	20勝42敗38分	六 段	42歳	多摩市剣道連盟	(銚子市) 篠崎 博
21	H. 20. 1. 27	しだ すなお 信田 淳	36勝50敗14分	五 段	36歳	銚子剣道連盟	(多摩市) 矢野 雅之
22	H. 21. 1. 25	やたべ よしあき 谷田部芳昭	65勝26敗9分	五 段	30歳	山梨県剣道連盟	(山梨県) 谷田部芳昭
23	H. 22. 1. 24	みやこだ かずよし 都田 一吉	26勝58敗16分	錬士六段	40歳	日野市剣道連盟	(府中市) 井上 智明
24	H. 23. 1. 23	よしだ あきら 吉田 晃	22勝58敗20分	五 段	31歳	総合警備保障株	(総合警備) 木村 孝
25	H. 24. 1. 22	さきき つぶあき 佐々木嗣明	40勝41敗19分	錬士六段	36歳	多摩市剣道連盟	(山梨県) 丹澤 忠臣

回	立切誓願日	基立者	戦績	称号段位	年齢	所属	敢闘賞
26	H. 25. 1. 20	うぶかた あつし 生方 篤	39勝33敗28分	錬士六段	36歳	調布市剣道連盟	該当者なし
27	H. 26. 1. 19	まつうら けんいち 松浦 健一	46勝30敗24分	錬士六段	41歳	多摩地区実業団 剣道連盟	(総合警備) 西山 亮
28	H. 27. 2. 11	たじま あつと 但馬 淳仁	32勝47敗21分	六段	42歳	稲城市剣道連盟	(日野市) 石上 強
29	H. 28. 2. 11	いしがみ つよし 石上 強	41勝37敗22分	錬士六段	40歳	日野市剣道連盟	(日野市) 石上 強
30	H. 29. 2. 11	いづえ ともあき 井上 智明	33勝42敗25分	錬士六段	40歳	府中市剣道連盟	(総合警備) 内田 真之
31	H. 30. 1. 14	いとう はじめ 伊藤 創	33勝39敗28分	錬士六段	36歳	調布市剣道連盟	(多摩市) 鈴木 智生
32	H. 31. 2. 11	すずき ともお生 鈴木 智生	31勝31敗38分	錬士七段	42歳	多摩市剣道連盟	(総合警備) 石森久教
33	R. 2. 2. 11	こしま しょうた 越間 翔太	44勝36敗20分	五段	31歳	稲城市剣道連盟	(山梨県) 佐藤裕己
34	R. 5. 2. 11	ひらた だいすけ 平田 大輔	37勝29敗34分	教士七段	47歳	国分寺剣友会	該当者なし
35	R. 6. 2. 11	よしなが てつお 吉永 哲勇	勝 敗 分	錬士七段	40歳	日野市剣道連盟	
36			勝 敗 分				
37			勝 敗 分				
38			勝 敗 分				
39			勝 敗 分				
40			勝 敗 分				
41			勝 敗 分				
42			勝 敗 分				
43			勝 敗 分				
44			勝 敗 分				
45			勝 敗 分				
46			勝 敗 分				
47			勝 敗 分				
48			勝 敗 分				
49			勝 敗 分				
50			勝 敗 分				
51			勝 敗 分				
52			勝 敗 分				
53			勝 敗 分				
54			勝 敗 分				

立切誓願試合会場配置図

正面

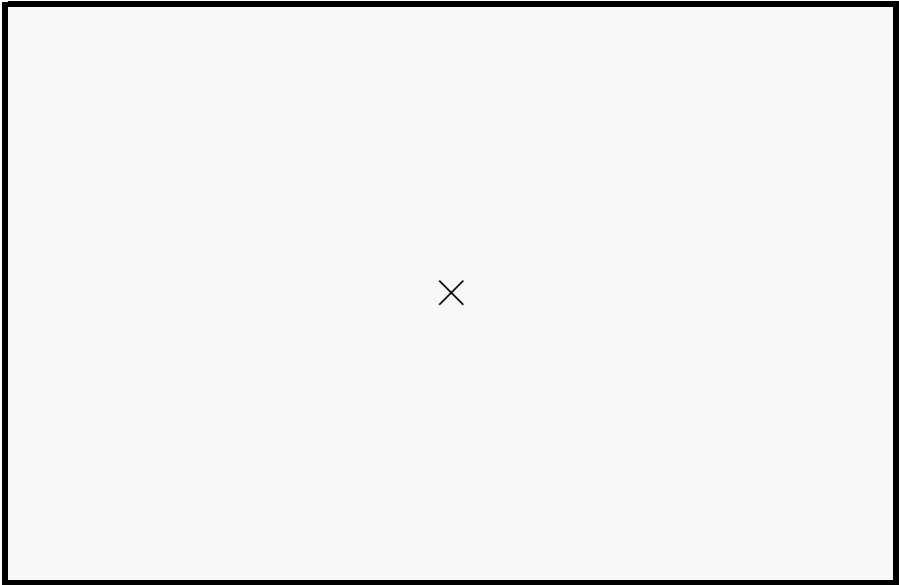
尾高	倉橋	畑中	小真	宮田	石田	菅浦	高正	山口	高斐
作谷	文島	一砂	田田	浦谷	正	口	斐	添	
来賓	来賓	来賓	来賓	来賓	来賓	来賓	来賓	来賓	審判員

賞品棚

一般席

基立剣士席

呼出
時計①
時計②
記録①
記録②
記録③
太鼓



一般席

一般席

出入口

掲示板

磯田	藤長	飯星	都佐	生但	石井	越平
田干	田	木方	馬上	上	間	田
楠青	小齊	佐坂	鱒松	小	小	箕
木切	藤野	東	澤田	林	俊	輪
来賓	来賓	来賓	来賓	来賓	来賓	来賓
挑戦	挑戦	挑戦	挑戦	挑戦	挑戦	挑戦
剣士	剣士	剣士	剣士	剣士	剣士	剣士
実行委員	実行委員	実行委員	実行委員	実行委員	実行委員	実行委員
席	席	席	席	席	席	席

成就者

題百人立切誓願試合

紅梅樹下雪悽溶
白幟翻門痛闘鋒
立切百人悲願楔
耐挑孤劍賛從容

上平声ニ冬之韻

百人立切誓願試合に題す
栞石 菊前 博

紅梅樹下雪悽溶

白幟門に翻つて斗鋒を痛ら

百人に立切る悲願の楔

孤劍の挑むに耐え從容を賛する

平成十年二月十一日

大意

紅梅の根本に骸の柀に融けた残雪が有りあざめいこれから立切誓願試合の悽慘な攻防を予測しているかの柀な浅春であつた

立身流の白幟りが今日の剣士達の志氣と斗志を鼓舞する柀に洗心館の門の両側に立てられていた

こつと第十二回の立切り誓願の悲壮な試練の儀式の火蓋が落とされるのであらうに

然りとて意外ではあるのは次々に挑む多勢の雄猛なる剣士群と相手に敢然と斗う基立るの孤劍は回を重ねるも確かにその衰を見せぬかえつて打るおす技は鋭く況えてその後背に心技一体の中よりさへ見せたる驚異と畏敬の誓願試合であつた

祝 第35回剣道百面立切誓願試合

一成堂オリジナル 純国産・純職人技の甲手

『誠山』



毛詰・芯材や各部造りの改良により

安定した手の内と使用感を実現した新誠山甲手登場！

一成堂オリジナルの純国産「誠山甲手」をご紹介します。

甲手師の造る誠山甲手は剣道家が求める理想の手の内に近づく使いやすい仕上がりとなっています。手形から製作し使う人のサイズに合わせたオーダーも承ります。是非一度お試し頂けますようご案内申し上げます。



手首の反し良好



股を深くし安定した握り



糸目を長くし手刺風

● 5mm総織刺少年用甲手(ケラ入)

● 5mm織刺甲手(爪革入)

● 5mm総紺鹿革甲手



武道具

一成堂

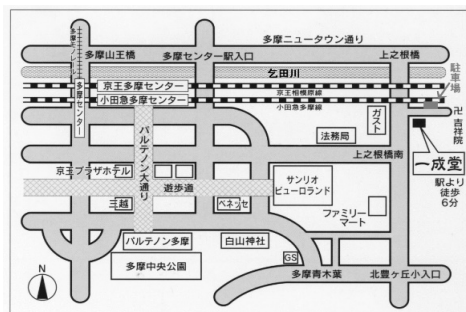
〒206-0031 東京都多摩市豊ヶ丘1-61-1

TEL 042-401-1618 Fax 042-401-1631

URL : <http://isseido.info/>

営業時間 : 10:00~19:00 定休日:毎週月曜及び第一火曜日
(祝日は営業します)

(クレジットカード・電子マネー使えます)



多摩センター駅より徒歩6分 駐車場…有